

## ◀ 当院に通院されている皆様へ 研究協力における情報提供について ▶

**研究課題名** : 皮膚科における金属アレルギー診療の実態調査  
**研究機関** : 藤田医科大学 医学部 総合アレルギー科  
**対象医療機関** : 日本接触皮膚炎研究班 JCDRG 班員所属施設  
**研究責任者** : 藤田医科大学 医学部 総合アレルギー科 教授 矢上 晶子  
**研究期間** : 2026年3月31日まで(予定)

### 研究の目的・背景および調査内容について:

金属によるアレルギー発症事例は子供から大人まで幅広く報告されていますが、本邦において金属アレルギーに特化した大規模な疫学調査はされていません。金属はアクセサリなどの生活用品のみでなく、歯科、整形外科、循環器内科等の治療にも多く使用されており、金属アレルギー患者に対しては複数の診療科で連携した診療及び診断と生活指導が必要であると考えられます。

しかし、金属アレルギーの診断に有用であるパッチテスト(アレルギーの原因を調べるために原因と推定される物質を体皮に貼って反応を調べる検査)が実施できる医療機関は限られているため、確定診断を受けられていなかったり、血液検査等では金属アレルギーの診断法として確立されていなかったりと、金属アレルギーと適切に診断されていないのが現状です。正確な診断が施行できないことから金属アレルギーの患者さんへの指導が不十分になっていることが推測されます。また、十分な検査が施行できないことから金属アレルギーの診療に必要な多科との連携が希薄になっていることも大きな問題であると考えています。

そのような問題を受け我々は、金属アレルギーの診断法の確立、そして、多科連携診療モデルの構築に取り組み、最終的には収集した情報を基に金属アレルギー診療ガイドライン・生活指導マニュアルの策定と普及を行うことを目的としています。そうすることで本邦における金属アレルギー診療の進歩、国民の保健・医療・福祉の向上に大きく寄与することが期待できると考えています。

本研究ではまず、金属アレルギーの実態およびその診療体制の実態把握を目的に、全国の医療機関に対し、金属アレルギー症例に関する情報収集を行います。調査対象となる患者さんは以下の通りです。

**当院にて2021年度中(2021年4月~2022年3月)にパッチテストを施行したうえで金属アレルギーと診断された方**

担当医師が該当すると判断した患者さんの年齢、性別、居住地域、問診情報(発症原因、検査結果、症状、治療の状況、日常の制限状況)をアンケート用紙に記入し、こちらに情報を提供いただきます。個人を特定できるようなカルテID・氏名・生年月日等については提供されません。また、金属アレルギー症状に関する患者さん本人になにか作業いただくことはありません。

### 利益相反について:

本研究は令和5年度厚生労働科学研究費補助金(免疫アレルギー疾患政策研究事業)「金属アレルギーの新規管理法の確立に関する研究(22FE0201)」を使用して実施します。企業等からの資金提供は受けておりません。

### 個人情報の取り扱いについて:

本調査ではカルテ情報は受診された診療科にて匿名化されるため、個人を特定しうる情報をこちらで取得することはありません。取得した情報は、藤田医科大学が責任をもって適切に管理いたします。調査結果は学会や論文等で発表される可能性があります。

### 研究対象者等及びその関係者からの相談等への対応に関する情報:

本研究の対象になられる方で、ご自身のデータの利用を除外してほしいと希望される方は、担当医師にご相談ください。除外のお申し出により不利益を被ることは一切ありません。

また、研究のより詳しい内容をお知りになりたい場合は、この研究の独自性確保に支障がない範囲で、資料を閲覧していただくことが可能です。希望される場合は、下記連絡先にお申し出下さい。

藤田医科大学 医学部 総合アレルギー科 教授 矢上 晶子  
〒454-8509 愛知県名古屋市市中川区尾頭橋三丁目6番10号  
電話:052-321-8171(代) メール:[aygami@fujita-hu.ac.jp](mailto:aygami@fujita-hu.ac.jp)

本研究は、藤田医科大学医学研究倫理審査委員会の承認を得て、実施しております。